科目名：	韓国朝鮮語文化理解	単位数： 3 単位	必要スクーリング出席回数： 12 回
使用教科書	： なし		
学習書・副読本	： サラムあそび編 こどもと暮らし （ブレーンセンター）		

	年間総数	1範囲	2範囲	3範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	18 回	7 回	6 回	5 回
テスト [T]	0 回	なし	なし	なし
その他（課題・実習等）	1範囲と3範囲に調理実習を実施します(別途材料費徴収)			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

朝鮮半島にある二つの国は日本から一番近い国です。醤油や味噌を使った料理や祖先を敬う慣習など日本と似ているところがたくさんあります。スクーリングでは、そんな朝鮮半島の文化や歴史、時事問題などについて学びます。韓国朝鮮語文化理解や初級会話を履修していなくても学べる科目です。
日本語でスクーリングを行います。映像資料や映画を観たり、お茶の文化に親しんだりします。
レポート付属の参照プリントや教科書を中心に自学自習を進めます。定期試験はありません。

2 学習の到達目標 （CAN-DOリストによる4技能の到達目標）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・韓国朝鮮の文化についてり理解し、自分なりの意見をもって日本語で話すことができる。	韓国朝鮮語文化理解 ・スクーリング中の発話	・韓国朝鮮の文化について理解し、自分なりの意見をもって日本語で書くことができる。 ・教科書や参照プリントを元に、的確にレポートの設問に答えることができる。	韓国朝鮮語文化理解 ・定期考査 ・レポート	・韓国朝鮮の伝統音楽を聴きその音調やリズムを日本の音楽と比べることができる。 ・調べ学習における映像資料の内容を聞き取ることができる。	韓国朝鮮語文化理解 ・スクーリング時の態度	・日本語で書かれた韓国朝鮮の歴史、文化、風習などについての読み物や、参照プリント、教科書の中から要点を絞って読み解くことができる。	韓国朝鮮語文化理解 ・定期考査

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法				・記述の確認及び分析（レポート） 調べ学習による知識の定着

・学年末に5段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
1 範囲	朝鮮半島の文化を知ろう（7回）	韓国朝鮮の地形 言語文化 食文化と食習慣 神話と昔話 歌に現れる家族像	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			（本単元では設定しない）			
			「外国語表現の能力」			
			（本単元では設定しない）			
			「外国語理解の能力」			
			（本単元では設定しない）			
			「言語や文化についての知識・理解」			
			朝鮮半島の言語文化と食文化を簡単に紹介し知識として理解させる。	日本との相違点を参考文献やスクーリングから発見させ、また、紹介する。	朝鮮半島の言語文化と食文化を理解できているか	・レポート
2 範囲	朝鮮半島の伝統文化を知ろう（6回）	秋夕と祖先祭祀 生活と儒教 ペギルとトル 葬儀と結婚	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			（本単元では設定しない）			
			「外国語表現の能力」			
			（本単元では設定しない）			
			「外国語理解の能力」			
			（本単元では設定しない）			
			「言語や文化についての知識・理解」			
			朝鮮半島の儒教文化や通過儀礼と日本の文化とを比較し理解する。	日本との相違点を参考文献や調べ学習、スクーリングから発見させ、また、紹介する。	朝鮮半島の儒教文化を理解できているか	・レポート
3 範囲	朝鮮半島の伝統と現在（5回）	伝統芸能とその継承 伝統音楽 キムチの今 医食同源と茶道文化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			（本単元では設定しない）			
			「外国語表現の能力」			
			（本単元では設定しない）			
			「外国語理解の能力」			
			（本単元では設定しない）			
			「言語や文化についての知識・理解」			
			朝鮮の伝統芸能と茶道文化について 日本文化と比較し理解できる。	日本との相違点を参考文献や調べ学習、スクーリングから発見させ、また、紹介する。	他国の文化を理解し、日本文化と比較することの重要性が認識できる。	・レポート